

## 自治体との連携

**【事例】** 大阪府交野市 と大阪経済大学の  
包括連携協定



# 協定締結後に実施したプロジェクト

## <1>「スポーツで地域課題を解決する！」人間科学部 田島ゼミ

### 【目指していること】

スポーツがさまざまな“まち”の課題を解決することができれば、社会の中で、スポーツは今よりもっと大切な存在になれる。  
私たちのゼミではスポーツの持つ力を信じて、スポーツが社会にできることは何かを見つけ、それを実行できる力を養っていくことにチャレンジをしています。

### 【実施内容】 (交野市&大阪経済大学包括連携プロジェクト)

「子どもたちの夏休みを消化時間にさせない！夏休み“水泳”&“学習”教室」

#### (1) 背景

夫婦共働き世帯にとって、子供の放課後時間、特に夏休のような長期休みは、保護者が仕事の時間中、誰が子供の面倒を見るのかという問題が生じ、決して小さくない悩みの種になっている。

#### (2) 交野市(自治体、市民) & 大学(研究者、学生)が企画&実施したプログラム

日時: 2023年7月31日(月)~8月4日(金)、9時~16時

対象: 交野市立星田小学校、児童会参加児童約50名

内容(1日の流れ):

9時~10時 学習タイム ← 大学生による学習支援

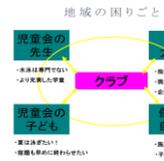
10時~11時 レクリエーションタイム ← 日替わりのゲームを大学生が企画

13時~15時 小学校のプールで“水泳”タイム ← ゲーム企画+安全管理!

⇒ 子供、保護者、児童会の先生、大学生 それぞれが持つ困りごとを解決できたか



### 【効果】



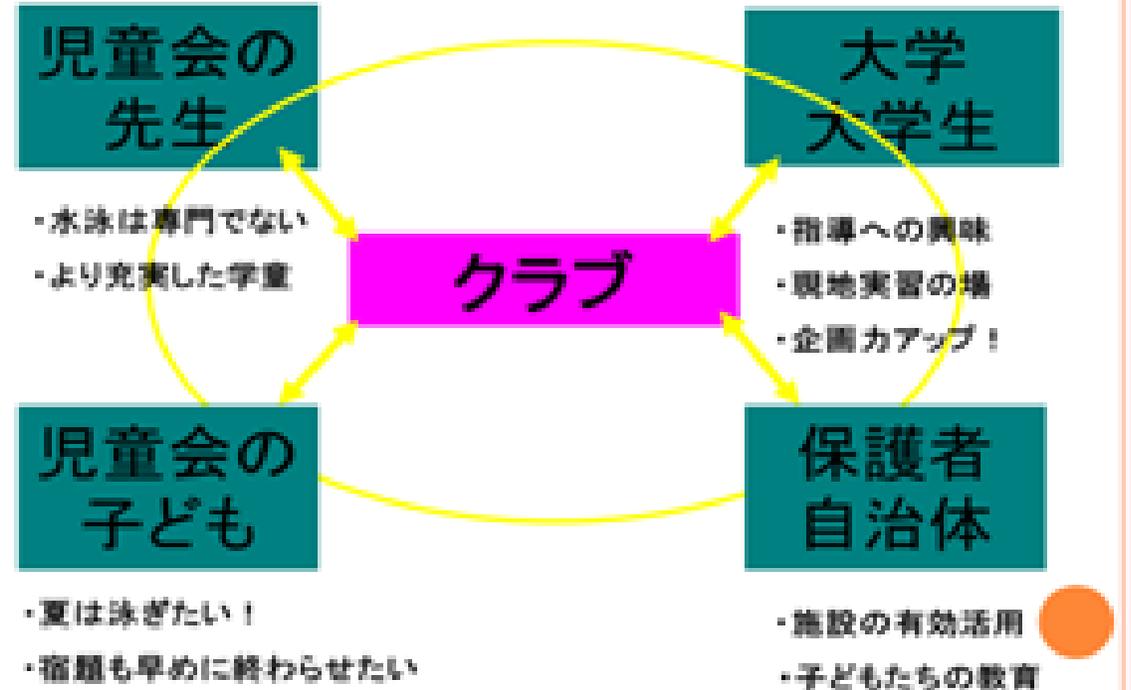
- 忘れられない夏休みの体験
- イベント企画、スポーツ指導経験
- 学校施設の有効活用
- 安心&充実の子どもの預かりの場

### 【今後の展望】

(教育)事業の持続性を担保するためのマネジメントプランづくり  
(官学連携)運動部活動の社会的投資効果の検証(研究)  
交野マラソンを活用したマネジメント教育のプログラムづくり(教育)

問合せ先: 人間科学部 教授 田島良輝 MAIL: y.tajima@osaka-ue.ac.jp

## 地域の困りごと





# プログラムのようす



# 学生の打合せや交野市職員からの指導のようす



# 卒業論文での取り組み

## 研究の目的と方法

総合型地域スポーツクラブは近年、クラブ設立数は横ばい傾向となっており、新たなクラブの設立があまりみられず活動休止や解散するクラブも見られる。その理由としてスタッフや財源などの必要不可欠なものが不足していることが原因としてあげられる。スタッフがすべてボランティアになると人材を集め続けることは難しくなり、クラブは解散してしまう可能性がある。そのため筆者は総合型地域スポーツクラブのスタッフには一定の報酬が必要であると考え、総合型地域スポーツクラブのプログラムに対する価格設定を分析する。また持続可能な地域スポーツクラブを運営できる実践的な研究が不足しているため、我々が行った交野市&大阪経済大学連携プロジェクトを分析して実践例を明示し、プログラム参加に必要な価格の設定を検証する。方法は交野市&大阪経済大学連携プロジェクトの「夏休みの宿題&水泳教室」プログラムに必要な支出の価格シミュレーションをおこない、他のサービスの料金と比較し、プログラム参加への根拠を交えた最適価格を提示する。

## マネジメントプランの検証

本プログラムの支出シミュレーションを行った結果、支出を最小限に抑えた設定では 202,890 円となった。1人4,058円、1日あたり811円で参加できる。しかし、1人4,058円の価格設定であるとして一切の利益が出ないため民間が行っている類似性のある3つのプログラムと比較した。(1)市民プールを活用した水泳教室+市町村が開いている学習教室の参加料は4,400円に低価格になると設定した。(2)民間企業がおこなっている水泳教室+塾がおこなっている夏期講習に通った場合は8,250円(水泳教室)+19,000円(夏期講習)=27,250円の料金と設定した、(3)5日間日帰りキャンプに行くと仮定した場合、料金は47,500円になると設定した。我々のプログラムは他のプログラムのメリットやデメリット、そのプログラムの価値や需要なども考え、(1)以上(2)、(3)未満の範囲での価格設定と考えた。1つ1つのプログラム内容に分けて、価格を提示する。まず水泳教室で考える。水泳の時間は体育の教育実習経験者が指導をしたため、民間の水泳教室の半分の料金は設定しても問題ないと判断し、 $8,250 \text{円} \div 2 = 4,125 \text{円}$ と設定した。次に学習教室の価格を考える。学習教室でも塾講師の経験がある現役の大学生の存在や小学生の問題は基本教えることが出来ると考え、ここでも塾の夏期講習の半分の金額で設定しても問題ないと判断した。そうして $19,000 \text{円} \div 2 = 9,500 \text{円}$ と価格を設定した。水泳教室+学習教室の2つの価格を合わせると $4,125 \text{円} + 9,500 \text{円} = 13,625 \text{円}$ となった。細かい金額は切り捨てたいと思う。以上の考え方から私は今回のプログラムは児童1人につき13,500円の価格設定が妥当だと分析した。

## 結論と今後の課題

本研究では、財源確保による持続可能なクラブをつくるための社会課題解決型プログラムの価格設定の検証が必要であると考え、交野市の総合型地域スポーツクラブ設立に向けた試行プログラムの価格設定を試みた。結果、プログラム参加への妥当な価格として13,500円と分析した。

今後の課題として、プログラム内容では保護者の負担を減らすための、昼食の用意を主催側でできないか考えた。子ども食堂との連携や料理作り体験などの可能性もあり、より充実したプログラム内容の提供が必要である。プログラムの支出シミュレーションでは、学生による授業中のプログラム作りの時間や事前研修、外部コーチの人件費などを省略している面もあるため、より詳細な支出の計算も今後必要であると考え。価格設定では消費者からの意見も必要となる。消費者へのアンケートなども取り、よりプログラム参加への需要が高まる価格設定を行うことでより適切な価格の設定につながると考える。

# 成 果

## 【教育】

- ・ 質の高いフィールドワークの場を確保できた
- 実践での問題発見、企画づくりと運営、および検証のPDCA
- 座学 < 座学 + 実習 ← 学生にあった学びの方法！？

## 【研究】

- ・ より質の高いデータを確保できた
- ・ 現場と協働した研究が可能になる→実践研究としての可能性大

## 【運営】

- ・ 授業経費（実習費用）の確保
- ・ 市他部署、大学他分野での新たな取り組みも期待できる

# 包括連携協定のつくり方

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ポイント	フェイズ1 信頼醸成&課題共有			フェイズ2 組織調整	フェイズ3 実行	フェイズ4 改善
交野市	まちづくり会議開始	まちづくり会議継続	まちづくり会議報告	・関係部署調整 ・市長への説明	プロジェクト実施	1年ごと振り返り
教員	まちづくり会議開始	まちづくり会議継続	まちづくり会議報告			
学生				講義やゼミ内ワーク		論文化→テーマ深掘
大学					調整（事務、広報）	